



令和2年度 入学式を終えて

6月1日（月）入学式。

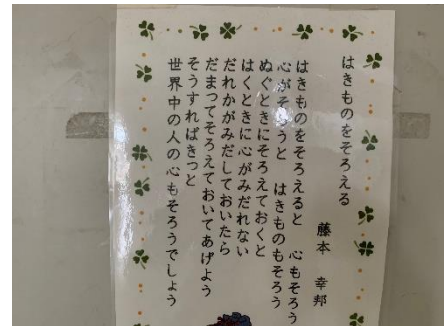
やっとこの日を迎えることができました。式で初めて130名の子供たちと向かい合いましたが、私にしっかり目をつないで話を聞く姿に心が震えるような喜びを感じました。また、体育館への移動の途中、整然と美しく並んだ1年生の皆さんの靴箱が目にとまりました。もちろん今日は初日。帰る時に保護者の皆様と一緒にいたので、そのお声掛けの力もあるとは思いますが、私たち小野小学校で大事にしたいことが保護者の皆様も大切にしているところに保護者の皆様の意識の高さを感じました。魂は細部に宿ることを実感した瞬間でもありました。

小野小学校の昇降口には「はきものをそろえる」という藤本幸邦さん※の詩が掲示してあります。（※作者は、長野市篠ノ井横田にある児童養護施設、円福寺愛育園の園長だった藤本幸邦（こうほう）師。2009年12月、99歳で亡くなった。）

明日は始業式、まず全校でこの「はきものをそろえる」を実践していきたいものですね。

明日の始業式では、放送で以下の式辞のみお伝えします。

特に、感染症対策は、子供たちの実態に応じた指導が必要です。先日職員会議で確認したことをベースに、迷ったら学年で相談し、必ず7学年部にも相談してください。参考までに明日の式辞を掲載しますので、各学級でご活用ください。



令和二年度始業式 式辞（概略）

全校の皆さん、おはようございます。私は4月から校長になりました手代木吉之です。どうかよろしくお祈りします。しばらくの間、皆さんが登校する時間や下校する時間に外に立っていますので、私の顔を早く覚えてください。さて、今日から令和二年度が始まりました。みなさんも知っているように、今年は「新型コロナウイルス感染症」のために、三月二日から約三ヶ月もの長い間臨時休校となりました。今日から学校を再開することはできましたが、六月十一日までは、教室の中の密集を避ける目的で、分散登校で学校を再開することとなりました。今日から始まった学校生活では、私たち一人一人が感染予防をしっかりと行いながら生活しなければなりません。詳しくはこのあと、担任の先生のお話をしっかりと聞いて、覚えてください。

さて、最後に校長先生から、お願いがあります。

それは命を大切にすることです。校長先生が一番心配しているのは、みなさんが交通事故にあうことです。校長先生は4月から小野小学校で仕事をしていますが、朝も昼も夜も、小野小学校の周りにはたくさんの車が走っているので、大変驚きました。交通事故で一番多いのは飛び出しです。小野小学校には、みなさんの登下校を見守ってくださっている「見守り隊」の方がたもいらっしゃいますが、学校の登下校は自分の目で見て、十分に安全に気を付けて歩いてください。

さあ新学期。新しい友だち、新しい先生との生活が始まります。みなさんが元気に学校生活を送ることができるように、校長先生も皆さんの様子を見守っていきたいと思います。これで校長先生の話が終わります。

令和二年六月二日 大和町立小野小学校 校長 手代木 吉之

1年生の主任の岩手千春先生はじめ、猪股純子先生、佐々木早智先生、佐藤雅子先生、佐藤久美先生、そして1年生の支援員の佐々木素子先生、保原理桜子先生、今日1日ありがとうございました。そして明日からよろしくお祈りします。また結びになりますが、4月当初から何度も何度も何度も計画を練り直し提案していただいた島貫主幹、本当にお疲れ様でした。

（文責：手代木）